

## 新 小 山 最 終 処 分 場 の 概 要

### 1. 計画概要

新小山最終処分場は、総埋立容量約 167 万 $\text{m}^3$ の遮水施設、浸出水処理施設を備えた管理型最終処分場で、汚泥、廃プラスチック類、鉱さい、ガラスくず等の産業廃棄物や、大規模地震等で発生する災害廃棄物（一般廃棄物）の最終処分を行う計画です。

また、この処分場は、地元小山町の集落が近接していることから、埋立地の造成形状は、圧迫感のないよう景観に配慮した形状とし、処分場の外周部には緩衝緑地帯を設けるなど、周辺環境に配慮した計画としています。

なお、本処分場の主な計画概要を表－1に示します。

表－1 新小山最終処分場計画概要

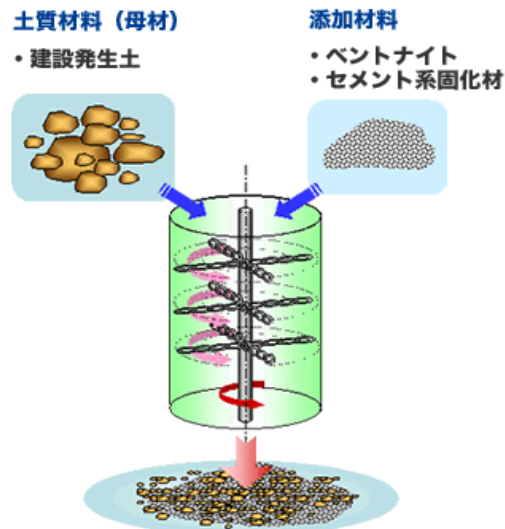
区 分	計 画 内 容
施 設 面 積	施設総面積 : 281,600 $\text{m}^2$ 埋立地面積 : 94,500 $\text{m}^2$ 管理施設等面積 : 48,100 $\text{m}^2$ 緑地面積 : 139,000 $\text{m}^2$ (残存緑地 : 74,400 $\text{m}^2$ 、造成緑地 : 64,600 $\text{m}^2$ )
埋 立 容 量	埋立総容量 : 1,672,000 $\text{m}^3$ 内訳 ① 廃棄物量 : 1,372,100 $\text{m}^3$ ② 覆土等量 : 299,900 $\text{m}^3$
埋立処分できる廃棄物	<b>【産業廃棄物】</b> 汚泥（水銀含有ばいじん等を除く）、廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む）、ガラスくず等（石綿含有産業廃棄物を含む）、鉱さい（水銀含有ばいじん等を除く）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）、燃えがら（水銀含有ばいじん等を除く）、ばいじん（水銀含有ばいじん等を除く）、ゴムくず、金属くず、動植物性残さ、木くず、紙くず、繊維くず、令 13 号廃棄物
	<b>【一般廃棄物】</b> 不燃ごみ、混合ごみ ※ 災害に伴って発生した一般廃棄物に限る。 ※ 混合ごみとは、分別が困難で不燃ごみと可燃ごみが混在したものをいう。
計画埋立期間	約 15 年（但し、災害廃棄物が発生しない場合は、約 21 年）
埋 立 工 法	重機による転圧片押工法
埋 立 構 造	準好気性埋立構造

2. 主要施設概要

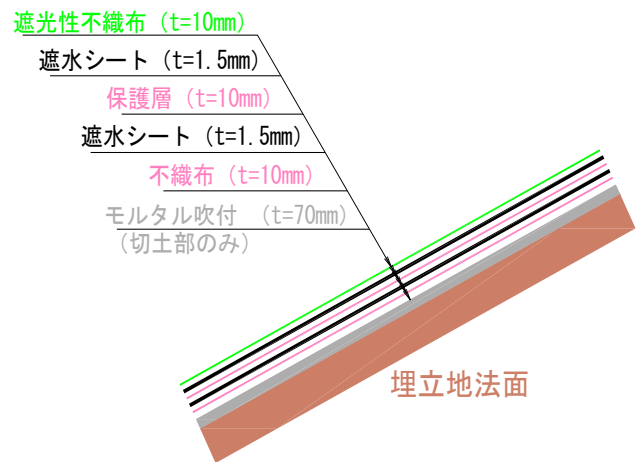
(1) 遮水施設

遮水施設は、埋立地内で発生する浸出水による地下水汚染を防止する施設です。

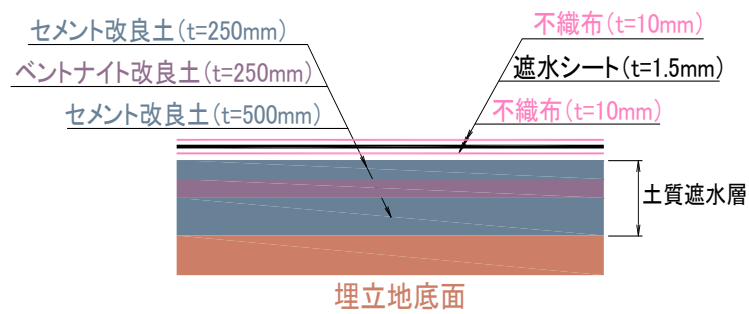
埋立地全面に二重の遮水施設を設置します。法面部は遮水シートの二重構造です。底面部は粘土やセメントを混ぜた土（混合土）を敷き固めて、強固で不透水性の地盤（土質遮水層）を造成し、その上に遮水シートを敷設します。



混合土 製造イメージ図



埋立地法面 遮水施設イメージ図



埋立地底部 遮水施設イメージ図

(2) 浸出水処理施設

浸出水処理施設は、埋立地内から排出される浸出水を所定の水質まで浄化する施設です。

また、大雨時にも安定した浸出水の処理が出来るように浸出水貯留施設も併せて設置します。

[ 施設概要 ]

・ 浸出水貯留施設及び処理施設の規模

名 称	施設の規模又は能力
浸出水貯留施設	処分場内 : 34,000 m <sup>3</sup>
	処理施設内 : 10,000 m <sup>3</sup>
	計 : 44,000 m <sup>3</sup>
浸出水処理施設	350 m <sup>3</sup> /日

・処理方式

生物処理+凝集沈殿処理+砂ろ過処理+活性炭吸着処理+キレート吸着処理

・計画処理水質

項目	原水水質	計画処理水質	排水基準値
P H	6.0～9.5	6.0～8.5	5.8～8.6
BOD (mg/l)	250	5 以下	60
COD (mg/l)	150	10 以下	90
S S (mg/l)	300	5 以下	60
T-N (mg/l)	100	10 以下	120 以下 (日間平均 60 以下)
T-P (mg/l)	2	0.2 以下	16 以下 (日間平均 8 以下)

※ 上記以外の有害金属等の項目については、「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」の排水基準値を遵守する。

### (3) 洪水調整池

洪水調整池は大雨時の処分場の雨水放流量を調整する施設です。

洪水調整池の構造はフィルダム構造とし、周辺環境を考慮してビオトープ機能を持たせるために、調整池法面部の緑化や調整池底部にアシ・ヨシ等の抽水植物を植生させる計画です。

なお、洪水調整池の施設規模は下表のとおりです。

洪水調整池の施設規模

項目	諸元	備考
堆砂容量	2,010 m <sup>3</sup>	
洪水調整容量	29,060 m <sup>3</sup>	
余裕高	1.0 m	
洪水吐能力	13.332 m <sup>3</sup> /sec	100 年確率流量×1.44



洪水調整池全景写真 2013.08 撮影

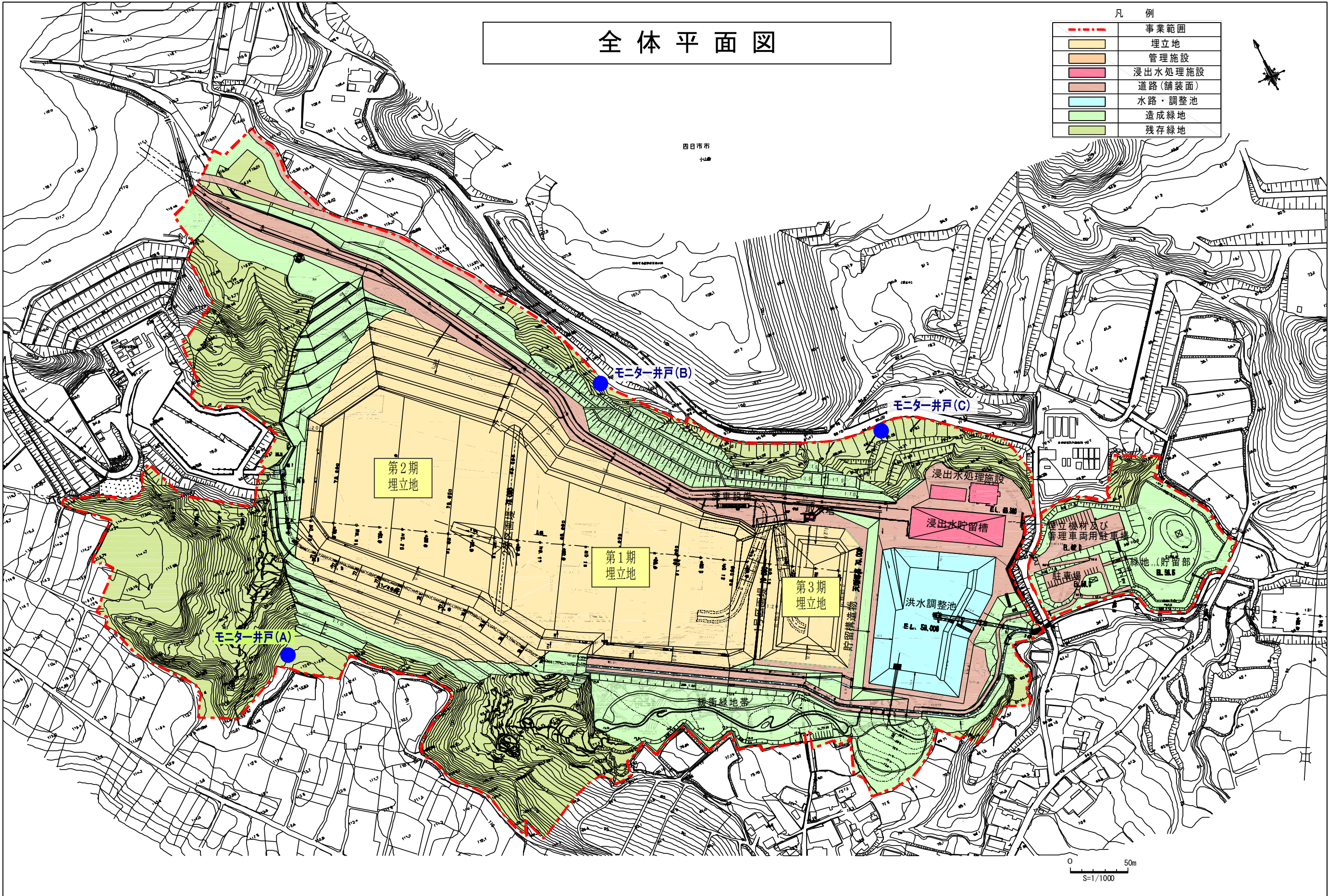




全 体 平 面 図

凡 例

---	事業範囲
■	埋立地
■	管理施設
■	浸出水処理施設
■	道路(舗装面)
■	水路・調整池
■	造成緑地
■	残存緑地



0 50m  
S=1/1000

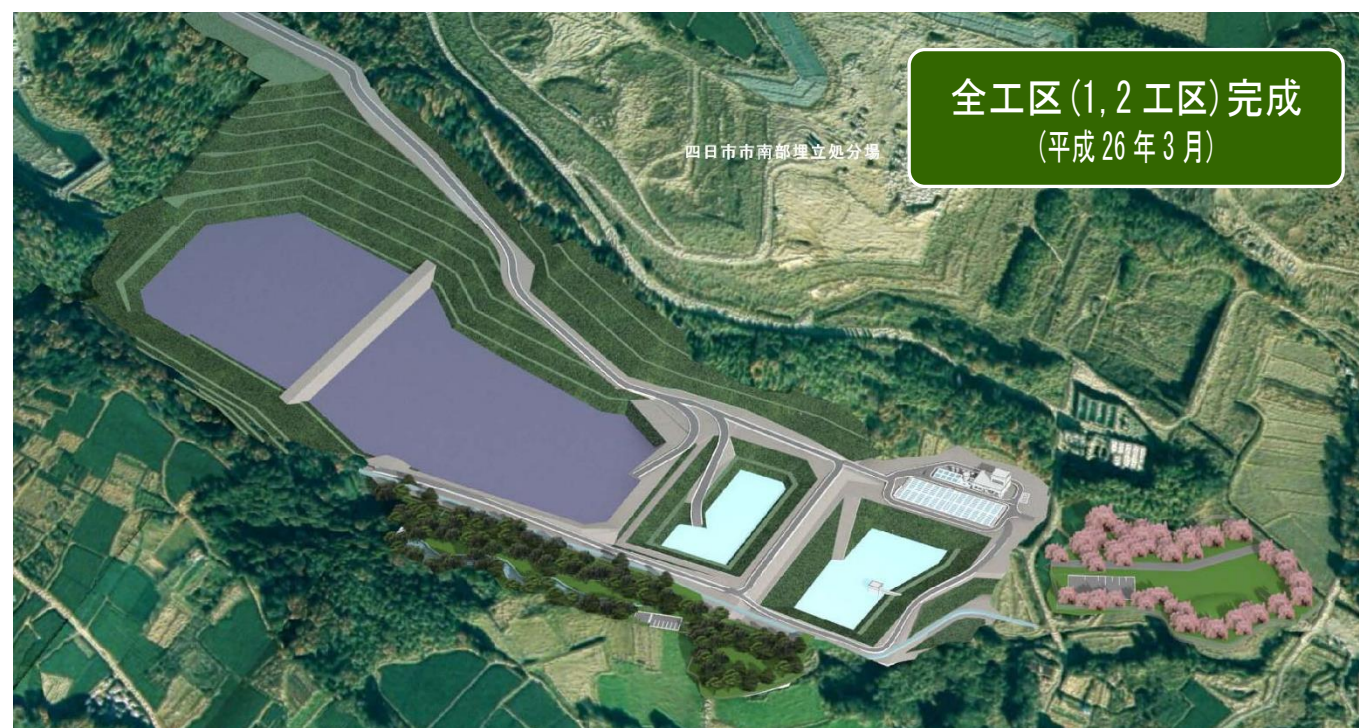






## 新小山最終処分場（鳥瞰図）

《工事前現況から埋立完了まで》









新小山最終処分場 全景写真

第2工区  
(現在工事中)

第1工区  
(完成)

浸出水処理施設

下流緑地(いこいの広場)

洪水調整池

緩衝緑地(せせらぎ緑地)

第1工区完成時(平成24年11月)









新小山最終処分場全景写真



(平成 26 年 8 月撮影)